

いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

「育ちゆく体とわたし」

富山市立西田地方小学校

平成24年10月17日実施

【授業の概要】

- 1 大人と子ども、男性と女性の違い
- 2 体の見えない部分の変化
- 3 命の始まり（卵子と精子）
- 4 命の誕生
- 5 思いやりのある接し方

（お父さん、お母さんへ）今日、授業を受けて、赤ちゃんの人形をだっこしたり、お母さんが赤ちゃんを産む時の大変なことを聞いたりして、お母さんとお父さんがぼくを育てるのにどれだけ苦労しているかが分かりました。これからも命を大切にします。

（父より）生まれてきた命は、この宇宙の中でただ一つはなく、他のものと取り替えることができない大切なものです。命あるものを育てることには大きな苦労がありますが、それにも増して大きな喜びがあふれているのです。

【いのちの先生】

種部 恭子先生

・婦人科医（女性クリニック We 富山）



（両親へ）いつもいろいろな場所へ連れていってくれてありがとうございます。助けてもらったり、支えてもらったりしてここまで成長できました。命の授業では、3kgの人形の赤ちゃんを持ってみて、赤ちゃんをさずかってからここまで成長させるのは大変だと思いました。これからもよろしくお願いします。

（ママ、パパより）〇〇ちゃんメッセージありがとう。あなたが生まれた時、本当にうれしくてパパと一緒に涙してはや11年。この11年間は、本当にいろいろな思い出のつまった宝物のような時間を過ごすことができました。この11年間でいろいろなことができるようになりましたね。そしてこれから大人になるまでの間には、時には、つらいことや苦しいことがあるかもしれませんが、でもどんな時でも家族は〇〇ちゃんの味方です。これからも家族みんなで〇〇の成長を一生懸命応援します。そのことを忘れずに、夢をもって前を向いて精一杯がんばってね。

